

DXは、新たな価値創造への一歩。



会社の業務を効率化し、新分野に力を注ぎたい！経営者の思いを叶える一歩がDXです

「DXとは何か？」
 近年、身近なビジネスシーンにてDXという言葉が聞かれる機会が増えてきました。とはいえ、デジタルトランスフォーメーションとは、何なのでしょう？情報通信白書（令和3年）を見ると、「デジタル・トランスフォーメーション」という概念は、2004年にスウェーデンのウメオ大学のエリック・ストルターマ教授によって提唱されたものであり、同教授の定義によると「ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること」と紹介されています。

「DXとは何か？」
 昨今、さまざまな分野で取り組みが推奨されるDX（デジタルトランスフォーメーション）。デジタル技術を用いた業務フローの効率化による、新たなビジネスモデル創出、企業風土の変革が期待されるものです。では、DXとは何か？導入のポイントは何か？具体的な例を交えながら、一緒に考えてみましょう。

「DXとは何か？」
 昨今、さまざまな分野で取り組みが推奨されるDX（デジタルトランスフォーメーション）。デジタル技術を用いた業務フローの効率化による、新たなビジネスモデル創出、企業風土の変革が期待されるものです。では、DXとは何か？導入のポイントは何か？具体的な例を交えながら、一緒に考えてみましょう。



ドコモビジネスソリューションズ東北支社、岩手支店長の三浦さん

視野に入れ、環境に配慮したカーボンニュートラルへの貢献にも取り組みつつあります。さまざまな課題解決に向け、モバイルやクラウドを使ってお客様に価値提供することが、私たちのミッションです」。

「ICTとDXは、どう違うのか。」

「ICTを使ったビジネスシーン

の課題解決への取り組みは、従来から行なってきたこと。IT化やICT化とは、既存のアナログ業務をデジタル化することです。手作業で行なっていた作業を、スマホ活用などによって便利にしましょう！という提案で、これまで社会全体が進めてきたわけですが、DXの目的はデジタル化そのものではなく、その先にあります。デジタル化によって効率化された稼働やコストなどを活用し、新しいビジネスを立ち上げるなど、企業価値の向上や競争力向上につなげていくこと。それがDX（デジタルによって変革する）という本来の意味になっていくと考えられます。

「どんな仕組みでも、社内を生かせなければ意味がないので、各企業の業務フローをしっかりと理解し、どこができるか、どこが分析できる必要があるか、しっかりと分析する必要があります」。

「導入に際しては、経営者だけでなく従業員の意識改革も必要であり、自分たちが成長していくために、どこをどう変えるか、現状を分析することが第一であると三浦さん。

「導入に際しては、経営者だけでなく従業員の意識改革も必要であり、自分たちが成長していくために、どこをどう変えるか、現状を分析することが第一であると三浦さん。

「導入に際しては、経営者だけでなく従業員の意識改革も必要であり、自分たちが成長していくために、どこをどう変えるか、現状を分析することが第一であると三浦さん。